

**平成 29 年度第 3 回沖縄県土木建築部公の施設に係る  
指定管理者制度運用委員会審議概要（中城公園の選考）**

**1 日時**

平成 29 年 11 月 10 日（金） 9:30～10:35

**2 場所**

県庁 12 階第 3 会議室

**3 出席者**

名嘉座元一 委員（沖縄国際大学経済学部経済学科教授）  
 成田昇 委員（平良真八税理士事務所税理士）  
 田邊嘉昭 委員（県営赤嶺市街地住宅自治会長）  
 永山達磨 委員（総合マリン沖縄代表取締役）  
 運天貴也 委員（南城市商工会理事、南城市立知念小学校 PTA 会長）  
 事務局（都市計画・モノレール課 公園緑地班長、主査、主事）

**4 審議事項（申請者への質疑応答と選定結果について）**

A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園管理の経験はあるか。</li> <li>→今年 10 月から宮古島市の公園の指定管理をしている。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮古島だと離島となるが、人員の配置はどうなっているか。</li> <li>→宮古島の造園業者と協力して管理を行っている。</li> </ul>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の間口が広いようだが、人員等も増えることになる。採算はとれているのか。</li> <li>→現在は毎年黒字を続けており、採算はとれている。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業について専門家を雇って行うのか。</li> <li>→地域の婦人会や老人会と協力しながら、行っていこうと考えている。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入場人数等は把握しているのか。また、どのような人が利用しているのか把握しているのか。</li> <li>→平成 27 年度は 16 万 3 千人、平成 28 年度は 14 万人となっている。利用者が減少した原因としては公園の目玉となっている大きな遊具が修繕のため、使用できない期間があった為である。利用者の多くは家族連れで、アジアの観光客も多くいる。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の利用者も多いとのことだが、ゴミの問題などどのように対応するのか。</li> <li>→トイレで使用したペーパーを流さない為に汚れが酷いという問題があったが、クルーズ船の旅行会社とも協力し、トイレトペーパーがトイレに流しても良いものだということを周知することで、改善された。</li> </ul>

（了）